

夢を紡ぎて

上田市立長小学校

学校だより

令和6年9月11日

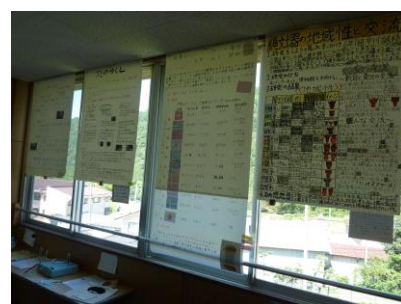
一学期の自分よりも 少しでも成長する二学期へ！



長い夏休みが終わり、2学期がスタートし、静かだった教室に元気な子どもたちが戻ってきました。夏休みの思い出をキラキラした表情で一生懸命職員に伝えたり、久しぶりに会った友だちと嬉しそうに話したりする姿がありました。夏休みが長かったので、どんなスタートになるか心配していましたが、子どもたちの様子から、夏休みが充実し、たくさん充電できたことが伺えました。その子らしさが存分に発揮された自由研究も出揃いました。お家の方からのメッセージからお子さんの取り組みの様子を想像することができ、見てい

るこちらも嬉しくなりました。お子さんの自己発揮を引き出し、それを見える形にして全力応援していただきありがとうございました。子どもたちも自分のよさを感じることができ、とても嬉しかったことと思います。ご協力ありがとうございました。

始業式では2・4年生の代表児童の「2学期のめあて」の発表があり、その後、校長先生からは、オリンピックの話をもとに『一学期の「一」の上により高く自分を成長させた一を引くのが二学期。一学期の自分よりも少しでも成長する二学期へ！夢の実現に向けてがんばりましょう。』というお話がありました。



9月6日（金）の参観日は ありがとうございました

9月6日（金）はお忙しい中、授業参観にお越しいただきありがとうございました。

2年生は午前中の3・4時間目に、丸山晚霞記念館の学芸員「佐藤聡さん」を講師にお招きし、親子協働で「お散歩Tシャツ」作りに挑戦しました。どれ一つ同じものがない素敵なTシャツに仕上がりました。お披露目は音楽会のステージになるそうです。どうぞお楽しみに。





5年生は人権啓発授業として、松本在住の長岡春奈さんを講師としてお招きし、ご講演「君はひとりじゃないから」を親子で聞きました。ご自身の生い立ち、経験をもとにお話をしてくださいました。LGBTQのことは今ニュース等で話題になることが多いわけですが、実際にお話をお聞きする中で、正しい知識を得ることができ、これからどうしていったらよいのかヒントをいただくことができました。

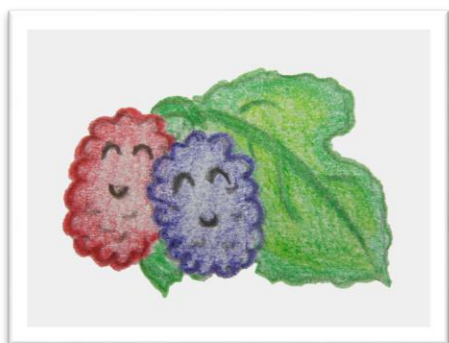
その他のクラスでも子どもたちの真剣に取り組む様子を見ていただくことができました。ありがとうございました。

講演会「子どもとのコミュニケーションを考える」

授業参観のあとは、上村恵津子先生（信州大学学術研究院・教育学系）のご講演をお聞きしました。日々の生活に追われる中で、実際に我が子へどう声がけをしたらよいのか、どう接したらよいのか迷うことはたくさんあります。今回は演習を通して「コミュニケーションの取り方」をわかりやすく教えていただきました。**子どもと話す目的はストレスの解消・気持ちの整理！**私たち大人も、聞いてもらうだけで気持ちがすっきりしたり、聞いてもらうだけでだんだん気持ちの整理がついてきたりすることってありますよね。「あとで」ではなく、子どもが話したい時にしっかりと子どもの話に耳を傾けていけるといいなあと思いました。学校でも「話し合える人がいるという安心感」をつくっていきたいと思います。



「読み聞かせボランティア」に名前が付きました



月に2回、読み聞かせでお世話になっている「読み聞かせボランティア」に名前が付きました。昔、長地区では養蚕業が盛んだったそうで、それにちなんで「**くわ（桑）の実**」という名称となりました。

今後、さらに読み聞かせボランティアの人数を増やしていきたいと考えていますので、絵本が好き、子どもが好き、本の読み聞かせをしてみたい、子育ての話をしたい…、という方は、ぜひ教頭までお知らせください。

くわ（桑）の実

文責：武田（教頭）

